

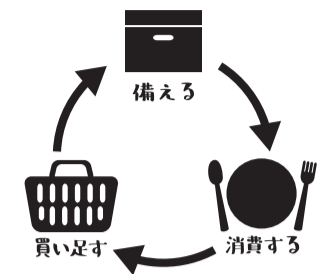
特集 **すぐそこにある危機 首都直下地震**

その時のために備える

備蓄 をしていますか

☎防災課(☎5723-8700、☎5723-8725)

大規模災害発生時は、ライフラインが機能しない可能性が高いため(2面参照)、最低でも3日分、目標として1週間分の食品などを備蓄しておくことが重要です。おすすめはローリングストック。普段から多めに買い置きをし、賞味期限が早いものから消費して、使った分を補充する方法です。また、備蓄はカセットボンベや乾電池、オムツなどの日用品も必要です。



ローリングストック

自分用の備蓄リストが作れる **東京備蓄ナビ**

家族構成や質問に答えるだけで、必要な備蓄品と量がリストで表示されます(コード①)。



安否確認の方法 を決めていますか

☎防災課(☎5723-8700、☎5723-8725)

災害時の連絡カード を作成しませんか

災害発生時、家族が別々の場所にいる場合もあるため、安否確認の方法を決めておくことが大切です。この機会に、災害時の連絡カード(下記)を作成して、財布などに入れておきましょう。

災害時の連絡カード	
①集合場所は	に行く
②伝言メモは	に残す
③伝言サービスは	登録する電話番号は
	を使って
④連絡の取り次ぎは	電話番号は
	さんに頼む

- ①どこに避難し、どこで落ち合うか(〇〇小学校など)
- ②避難先などの伝言メモを残す場所(玄関ドアなど)
- ③災害時にどの伝言サービスを使い、どの電話番号で登録するか(右記参照)
- ④連絡の取り次ぎをしてもらう遠方の親戚や友人を決める(電話番号も記入)

災害時に利用できる伝言サービス があります

災害時は音声通話がつながりにくくなるおそれがあります。そのため、震度6弱以上の災害時に利用できる、さまざまな伝言サービスが用意されています。複数の連絡手段を知っておくことが重要です。

伝言サービス	スタート方法	サービス内容
災害用伝言ダイヤル	171をダイヤル(公衆電話の場合、10・100円硬貨が必要で、通話後に返却)	固定・携帯・IP・公衆電話、スマートフォンから、音声による伝言を録音・再生できる
災害用伝言板サービス	携帯会社のメニューから	スマートフォン・携帯電話から、文字による伝言を登録・確認できる
災害用伝言板	インターネットから [web171] で検索	電話番号をキーにして、伝言(パソコンからは文字・音声・画像、携帯電話からは文字)が登録・確認できる
LINE安否確認	災害発生時、ホーム画面に表示されるボタンから「安否を報告」を選択	安否情報を登録でき、LINE上の友だちにまとめて知らせることも、確認することもできる

平常時に使い方を体験しておきましょう

災害用伝言サービス(LINEを除く)は、毎月1・15日、1月1～3日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災ボランティア週間(1月15～21日)に体験利用できます。

災害時に配慮が必要なかたへの支援体制 を整備しています

☎健康福祉計画課要配慮者支援係(☎5722-9689、☎5722-9347)

災害時に自身で身を守ることが困難な介護が必要なかたや障害があるかたなどを、災害時要配慮者といいます。要配慮者の避難や避難所生活のためには、地域での支え合いが重要です。区は、地域との情報共有を図り、顔の見える関係を作るための取り組みを行っています。

要配慮者のための防災行動マニュアル を配布しています

配慮が必要なかたのための備えや災害時取るべき行動などを掲載している冊子です。中には防災手帳(下記参照)を添付しています。

総合庁舎本館2階健康福祉計画課・福祉総合課・高齢福祉課・障害施策推進課、地域包括支援センターで配布するほか、区☎(コード②)でご覧になれます。

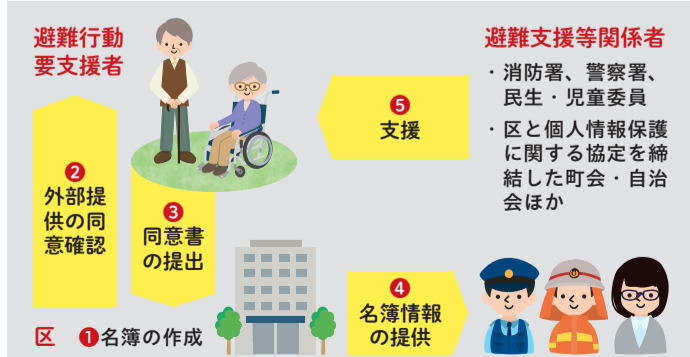


防災手帳(災害時個別支援プラン)に記入しておきましょう

防災手帳は、必要とする医療情報や配慮・支援内容、緊急連絡先などを記入するものです。自分に必要な支援の確認ができ、発災時も落ち着いて行動できるようになります。また、支援者と一緒に作成することで、情報を共有することができます。

避難行動要支援者名簿 を作成しています

災害時要配慮者のうち、特に避難に支援が必要なかたを避難行動要支援者として名簿を作成し、要支援者の同意を得た上で、避難支援者などへ提供しています。情報をきっかけに、声掛けや見守りなどの日頃からの関係作りにも活用します。登録を希望するかたは、区☎(コード③)をご覧ください。



情報収集の方法 を知っていますか

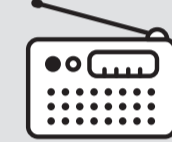
☎防災課(☎5723-8700、☎5723-8725)

災害時は多くの人が不安な心理状態に陥り、不正確な情報が広まりやすいため、発信元を確認するなどの注意が必要です。区では、災害発生時に、区民が適切に判断し行動できるよう、正確で迅速な情報発信に努めています。

情報収集方法	内容	メリット	デメリット
防災無線放送	震度5弱以上と推定された場合などの緊急情報を、区内65カ所のスピーカーから即時に放送	何もしなくても情報が入ってくる	屋内や気象状況などでは聞こえない場合がある
区ホームページ		文字情報を見て確認できる	自分から情報を得る行動が必要
区公式X(旧ツイッター)	防災行政関係機関などと連携し、区内の詳しい災害情報を配信(区☎、区公式X・LINEの二次元コードは16面に掲載)		
メールマガジン		自動的に緊急情報を受け取ることができる	アプリのダウンロードや登録が必要
Yahoo!防災速報			
防災地図アプリ	インターネットが不通の場合でも地図や避難所情報を表示		

災害時の情報収集に有効な携帯ラジオ

乾電池式や手回し式などの携帯ラジオは、停電時やインターネットが不通の場合も情報収集に使えるため、用意しておくことをおすすめします。



めぐろ防災フェスタ に参加しませんか

☎防災課(☎5723-8700、☎5723-8725)

楽しみながら防災を学べる体験型イベントです。詳細は区☎(コード④)をご覧ください。希望者は当日会場へお越しください。



☎9月3日(日)10:00～13:00
☎第一中学校(大橋2-11-1)



建物の耐震化 を考えませんか

☎建築課耐震化促進係(☎5722-9490、☎5722-9597)

区には、耐震化のためのさまざまな助成制度があります(コード⑦)。また、耐震化に関する展示と無料の相談を開催します(コード⑧)。この機会に、大切な命と財産を守るため、建物の耐震化を考えてみませんか。



耐震フェア・木造住宅の耐震無料相談

☎9月5日(火)～7日(木) ☎総合庁舎本館1階西口ロビー
耐震フェア(9:00～17:00)

木造住宅の耐震のための改修工法や装置を展示します。
耐震無料相談会(10:00～16:00)

図面などを持参すると、より具体的な相談ができます。相談希望者は、当日会場へお越しください。



都耐震キャンペーン

耐震に関するフォーラムやイベントが開催されます。詳細は都耐震ポータルサイト(コード⑨)をご覧ください。

☎9月1日(金)～6年1月17日(水)
☎都都市整備局建築企画課(☎3341-2513)



ペットの防災対策 はしていますか

☎生活衛生課生活環境係(☎5722-9505、☎5722-9508)

災害が発生すると、ペットも被災します。日頃からペットのための備えや対策をしておくことが大切です。詳細は、ペットとわたしの防災ハンドブック(総合庁舎本館3階生活衛生課、碑文谷保健センター、地区サービス事務所(東部を除く)で配布。区☎(コード⑩)で閲覧可)をご覧ください。

ペットの避難

家の安全が確保され、逃げ出し防止の措置ができる場合は、ペットは自宅待機が基本です。

ただし、自宅が危険となった場合、区の地域避難所はペット(※)を連れて避難することができます。避難所内の生活場所は別々になるなど、ペットの管理にはルールがあります。平常時に、ペットとわたしの防災ハンドブックで確認しておきましょう。

※大型動物やタカ・ワニ・オオトカゲ・ニシキヘビなどの特定動物(飼育許可が必要で、飼育施設や管理方法の基準が定められている動物)は、避難所では受け入れることができません。災害時の飼育方法や受け入れ先を探しておくことが必要です

